

草の根技術協力（地域活性型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ベトナム国
2. 案件名	ハイフォン市カットバ島における住民参加の海ごみ削減プログラム
3. 事業の背景と必要性	カットバ島は、島の大部分が国立自然公園に指定され、豊かな自然と生物多様性を有している。2023 年には、ハロン湾-カットバ群島が国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界自然遺産に認定され、観光業の発展に伴う地元住民の生活水準の向上が期待される一方、海岸漂着ごみの増加を始めとするカットバ島近海の海洋汚染問題が深刻化しており、その対策に苦慮している。 海岸漂着ごみの増加は、カットバ島が誇る美しい海岸線の景観を損なうだけでなく、自然生態系の破壊及び海洋環境へ悪影響を及ぼす恐れがある。そのため、過去にハイフォン市と協力事業を実施した実績があり、また全国に先駆けて「里海」づくりと称し海の環境の再構築に取り組んできた香川県に海洋環境の保全に係る協力要望があり、本事業を実施することとなった。
4. プロジェクト目標	カットバ島の海ごみの減少に向けた回収及び発生抑制の推進体制が構築される。
5. 対象地域	ベトナム国ハイフォン市カットバ島
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	ハイフォン市民（主にカットバ島住民）
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> 「カットバ島の海ごみ対策ビジョン（仮称）」が策定される。 - 海ごみの清掃活動や住民への啓発活動を牽引する「海ごみリーダー」の育成方法と、活動の支援について、行政側の体制が整備される。 「海ごみリーダー」が養成され、清掃活動と啓発活動が行われる。 - 育成された「海ごみリーダー」によって、住民や観光客への啓発活動が活発化するとともに、清掃活動やイベントの実施によりごみの発生が抑制される。 - 香川県の里海づくり推進事業との連携により、香川県とハイフォン市から世界に向けて「S A T O U M I」が発信される。 <活動> 1-1. 現地CP（＝カットハイ県人民委員会）と香川県メンバー（＝国際課職員、環境管理課職員、外部海ごみ専門家）による「(かがわの)里海づくり」に関する勉強会を実施する。 1-2. カットハイ県・ハイフォン市の行政関係者や様々な分野の関係者を対象に、カットバ島の海ごみについての講習会を行う。 1-3. 海ごみに関する実態調査を実施する。 1-4. ハイフォン市民を対象に、海ごみに対する意識調査（アンケート）を実施する。 1-5. 「カットバ島の海ごみ対策ビジョン（仮称）」を策定する。

	1-6. 海ごみに関する実態や意識について、モニタリングを実施する。 2-1. 海ごみリーダーの育成と活動支援体制の整備を行う。 2-2. 研修カリキュラム・教材を作成する。 3-1. 海ごみリーダーを養成するための研修会を実施する。 3-2. 海ごみリーダー主体の清掃イベントが実施され、その活動が市民に周知される。 4-1. ハイフォン市民に対する啓発資材（パンフレット・ポスター・動画・PRキャラクターなど）を作成して、海ごみの発生抑制を呼び掛ける。 4-2. 実態調査結果からカットバ島の海岸漂着ごみマップを作成し、効率的な海岸清掃活動ができるよう、住民に対する情報提供を行う。 4-3. カットバ島の学校を対象に環境学習を行い、未来を担う若い世代に里海づくりや海ごみ問題の理解を促す。 4-4. 観光事業者と海ごみリーダーによる、啓発クリーンアップ活動を行う。 5-1. かがわ里海大学での「ベトナム・ハイフォンの環境を学ぶ講座」の開催、情報発信等を行う。
8. 実施期間	2025 年 4 月 ～ 2028 年 1 月 （2 年 10 カ月）
9. 事業費概算額	59,307,767 円
10. 相手国側実施機関（カウンターパート）	相手国側実施機関（カウンターパート）：カットハイ県人民委員会 相手国側関係省庁：ハイフォン市 相手国協力機関：ハイフォン市外務局
Ⅱ. 団体の概要	
1. 実施団体／指定団体	香川県
2. 主な活動内容	平成 17 年度からベトナム国ハイフォン市との交流を開始。独立行政法人国際協力機構の草の根技術協力事業（地域提案型）を活用し、平成 19 年度から平成 21 年度まで一般行政分野で、平成 23 年度から平成 25 年度及び平成 28 年度から平成 30 年度まで保健医療分野での協力事業を実施している。